

私たちの活動や意見を  
仲間で共有します  
会費は県と日本平和委  
員会の活動も支えます



発行：土浦平和の会  
事務局：土浦市神立町2664  
ホームページ：//heiwatutiiura.  
web.fc2.com/

# 「ヒバクシャ国際署名」市長も職員も 土浦市が平和の会要望書に回答

土浦平和の会は3月に土浦市に提出した要望書に基づく懇談を4月6日、市役所内で行いました。市からは総務課長、同係長、市立博物館長が同席しました。要望内容と回答要旨を掲載します。

\*\*\*\*\*

## 1. 核兵器廃絶の国際署名について

現在、国内外で取り組まれている「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」に賛同・署名をして頂くとともに、市長名で市職員や市民へ署名の呼びかけを行って下さい。また、誰でも気軽に署名できるように市庁舎や公民館に署名コーナーをおいて下さい。

**【総務課長】** 先の議会での久松議員（共産党）の一般質問に対する市長の回答もあったように、非核平和都市宣言をしている当市にあつては、平和首長会議にも参加しており、そこでも取り組みが確認された「核兵器廃絶を求めるヒバクシャ国際署名」については、積極的に推進していく。市長は既にされ、現在、

職員（外郭団体を含めて）にも回しているところ。ご要望の「署名コーナー」については、個人情報保護の観点や持ち去りなどのセキュリティ確保の観点から実現は難しい。市役所のホームページから署名用紙にアクセスできるようにしているが、ホームページは生活に直結する問題を優先しているので分かり辛いかも。 「平和」のキーワードで検索してもらいたい。市が主催するイベントでは職員が直接署名用紙を持って訴えることにしている。

## 2. 原水爆禁止平和大行進について

例年、市長、議長、教育長から賛同金をいただき、さらに市長からはメッセージをいただいているところですが、市長にはぜひ亀城公園であいさつをいただきたい。

**【総務課長】** ご要望は理解しますが、市長のスケジュールの問題もあり、確約はできない。

## 3. 中学生の広島への平和大使派遣、原爆展など市主催の平和行事について一層の充実をお願いします。

いします。

**【総務課長】** 毎年8月、広島での平和祈念式典に市内8つの中学校から2名、計16名を派遣している。子供なので、全額公費負担だ。また、「平和と人権の集い」で参加体験を発表してもらい、市の広報にも掲載している。さらに、市独自で原爆パネル展も実施している。今後も行っていく。

## 4. 戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に伝える取り組みを

★市の事業として市内在住の戦争体験者の記録集を編纂して下さい。

★新図書館に「平和資料コーナー」を設け、戦争体験者の記録や写真、市内の戦跡紹介など戦争や平和に関する資料を公開・展示して下さい。

★小中学校での戦争体験者や被爆者による出前講座、講演会など平和学習を推進して下さい。

**【総務課長】** 新図書館に資料コーナーをというご要望だが、当市ではこの問題は博物館で行っているため担当から答えます。

**【博物館長】** 一昨年、戦後70年

の節目に、年々戦争体験者が減ってきており、戦争体験の収集は今が最後のチャンスだとの思いで、5か年計画で調査・収集・記録化を行うことにした。平成27年～28年度がアンケート、聞き取り等の調査、29年～30年度が収集した物を整理して記録化。後世に伝えるべく活用する。博物館にコーナーを設ける。31年度に学校教材化を考えている。アンケート調査については2年間で80人を超える方から回答を得た。

**【総務課長】**戦争体験の出前講師などのご要望については、小中学校もいろいろと忙しいが、

学校長の裁量で組み込むことは可能だと思う。

**5. 自衛官募集対象者情報の提出について**

自衛隊関係から依頼があっても、対象者名簿の作成および交付はしないで下さい。

**【総務課長】** 本市では、個人情報保護を優先し、(自衛隊から)要望があっても、「閲覧はできませんから必要ならどうぞ」という対応で、名簿提出は行っていない。

\*\*\*\*\*

**土浦市議会が継続審議**

土浦平和の会など8団体で構成される「憲法を守り・いかに土浦共同センター」が3月6日に土浦市議会に提出した「『テロ等準備罪』を新設する組織犯罪処罰法改正案に反対する意見書提出を求める陳情書」が3月16日に、共産党久松議員によって趣旨説明され、審議されましたが、資料不十分で継続審議(6月議会へ持ち越し)となりました。

歴史上初めて核兵器禁止条約を主題にすえた「国連会議」がニューヨークの国連本部で3月27日に始まり、初日は約115カ国が参加し、大きな盛り上がりを見せました。日本の「原水爆被害者団体協議会」を代表して藤森事務局次長が被爆体験も交えて「同じ地獄をどの国の誰にも絶対に再現させてはならない」と訴えました。

残念なことに、この歴史的会議にアメリカ、ロシア、中国、フランス等の核保有大国が欠席しました。唯一の被爆国である日本も欠席しました。理由は核保有国が参加しない状態で国連会議を開けば非核保有国との間に溝が出来るとのことでした。日本は核保有国と非核保有国との間を取り持ちたいとのこと。世界で唯一原子爆弾による生き地獄を体験し、何よりも世界の先頭に立って核兵器の廃絶を主張しなければならない日本が、なぜ核兵器所有に固執し続ける核大国に媚を売らなければならないのか。安倍政権は、日本を世界中の国民の軽蔑と嘲笑の渦にさらしました。数十万の無残な死傷と、後障

リレー随想

**世界の市民運動  
の力で核保有大  
国の手を縛ろう**

害にさいなまれている人々に対する重大な裏切り行為です。日本国民を代表する資格がありません。

今、この瞬間にもイラク、アフガン、シリア、クリミア、南スーダン、アフリカ等で内戦が続き、イスラム過激派ISが入り込み、多くの子供がナパーム弾等の、戦火の犠牲となり、大勢の避難民が生まれ、国際問題となっています。終息の無い内戦状態の多くは、核

大国による軍事力干渉に原因があります。武力による援助攻撃は武力による援助反撃を呼び犠牲者は多くの罪の無い市民、女性、子供たちです。いつ核兵器が使われてもおかしくない状態です。

今こそ世界国民の平和運動の連帯の輪を強化し、戦争勢力、核抑止勢力を包囲してゆきましよう。日本でも各団体が力を合わせ、核兵器廃絶署名をたくさん集め、国連に提出しましよう。

(松原 幸夫)